



## No Day, But Today 今日という日を思いきり楽しもう！

◇ 今回は、三尾俊祐さん（名古屋大学法学部・情報通信企業勤務）のレポートです！

関高校のみなさん、こんにちは。2009年度卒業の三尾俊祐です。私は名古屋大学を卒業後、情報通信企業に就職して現在5年目の社員になります。今回関高卒業生として貴重な機会をいただきましたので、主に私の学生時代の経験についてお伝えしたいと思います。

夢に向かって受験勉強や学校生活に日々打ち込む皆さんにとって、少しでも参考にさせていただければ幸いです。

### ●憧れのニューヨークで変わった価値観

大学は自分のやりたいことにどんどん挑戦できる場所です。私は大学生活において、ニューヨークでブロードウェイミュージカルを鑑賞したいという夢がありました。きっかけは、幼少期に劇団四季のライオンキングを鑑賞したことでした。まるで本物のサバンナで動物たちが歌い踊る姿に、「こんなにワクワクする世界があるんだ」と心を打たれました。

大学2年生で、語学留学という形で実現することができたニューヨークでの生活の中で最も印象的だったのは、そこに暮らす人々が、人目を気にせず情熱を持って生活している光景でした。遠慮なく地下鉄の電車の中でギターの弾き語りを始める人、奇抜なファッションで街を闊歩する人からは大きな自信が感じられました。また、語学学校で出会ったクラスメートへ留学の目的をたずねると、「ニューヨークでダンサーになりたい、映画監督になりたい、フラワーデザイナーになりたい」など明確な目標を持って渡米しており、大きな刺激を受けました。

また、日本では足に障がいがあり杖をついた私に、道端でのティッシュ配布や販売勧誘など避けられることが多いのですが、ニューヨークでは遠慮なく物を売りつけてきたかと思えば、混雑する電車のなかで、タンクトップに野球帽を被り、サングラスをかけた筋肉隆々のお兄さんが突然、「Hey, man! That's your seat!」と席を譲ってくれたりと(笑)、心のバリアフリーを感じることができました。

これらの経験から、年齢や性別、国籍や障がいの有無など様々なバックグラウンドは関係なく、自分自身がどう生きるかが大切であるということ学びました。



語学学校のクラスメートと



タイムズスクエア  
ミュージカルを15作品鑑賞！

## ●最も大切なのは「人」

私が今までの学生生活や社会人生活で最も大切だと感じたことは、人との関わりと感謝です。高校時代には、良きライバルとして切磋琢磨し、苦しい時には支えあいながら共に闘ってくれるクラスメートや、真剣に進路相談にのってくださる先生方に支えられて、受験勉強を乗り切ることができました。

大学生時代には、アルバイトやサークルなど様々な活動を通して人間関係が広がり、何でも相談できる一生の友人に出会うことができました。大学の授業を共に受けるだけでなく、カラオケや飲み会に行き語り合い、試験前日に徹夜で必死に勉強した彼らとは(笑)、職業や住む場所がバラバラになっても、月に一度は集まって近況報告という名の飲み会を行ったり、旅行をしています。

また社会人になってから強く感じることは、チームワークの大切さです。自分一人の力でできることなどほとんどなく、互いの強みを活かしながら協力して仕事を進めていくことが重要だと感じています。



学生時代の友人と

## ●最後に伝えたいこと

高校生活や受験勉強に励むなかで、時には思うようにならず迷い、息が詰まりそうになることもあると思います。そんなときは、焦らず一度立ち止まってみてください。みなさんを支えてくれている周囲の方が、きっと相談にのってくれるはずです。

どんな進路であれ高校を卒業した先には、まったく新しい世界、出会いが待っています。

余談ですが、タイトルに書いた「No Day, But Today」という言葉は、私が好きなミュージカル「RENT」という作品の劇中歌の歌詞です。夢に向かって前に進む高校生の方々に是非観ていただきたい作品です。映画化されてDVDも出ているので、よろしければ受験勉強の合間のリフレッシュとしてご覧ください。

みなさんが高校生活を思いきり楽しみ、それぞれの夢を実現されることを願っています。

最後まで読んでくださり、ありがとうございました。